



堆肥での失敗、いろいろ

肥と、根がそこでは伸びられず逃げる堆肥とがあることに、注意してください。

堆肥の質が悪いために起こりやすい障害のいろいろを、上の図にまとめました。家畜糞や生ごみが原料の未熟堆肥は、発根・発芽障害のほか、急激な分解による濃度障害やアンモニアガス障害で作物の枯れ・しおれや病弱化を招きます。また、おがくず・パーク（樹皮）などの木質系原料の未熟堆肥は、分解するために肥料で施した窒素を消耗して、作物が窒素不足を起こします。そのほか、土の保水性・通気性などの改良につながらない堆肥、堆肥中に雑草のタネが生き残っていて、雑草畑になってしまう堆肥などがあります。次頁からの説明を参考に、選択眼を身につけましょう。



良い堆肥で元気に発芽したコマツナ



堆肥を求めて根が伸び、根毛が土をつかんでいる